

令和元年度「救急の日」及び「救急医療週間」

- 「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和 57 年に定められ、以来、9 月 9 日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。
- 期間中、全国各地において、消防庁、厚生労働省、都道府県、市町村、全国消防長会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本救急医学会、その他関係機関の協力により、各種行事が開催されます。
- 消防庁では、「救急の日 2019」及び「救急功労者表彰式」を開催します。

令和元年度「救急の日」及び「救急医療週間」

[参考]

- ・救 急 の 日 … 9 月 9 日（月）
- ・救 急 医 療 週 間 … 9 月 8 日（日）～9 月 14 日（土）
- ・「救急の日 2019」 … 9 月 8 日（日）11 時 00 分～17 時 00 分
アクアシティお台場 3 階「アクアアリーナ」
- ・「救急功労者表彰式」 … 9 月 9 日（月）13 時 30 分～13 時 50 分
KKRホテル東京 11 階「孔雀の間」

報道発表の入手方法

報道資料については、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）の「報道資料」欄及び消防庁ホームページ（<https://www.fdma.go.jp/>）に、本日（29 日（金）14 時）を目途に掲載します。



【連絡先】消防庁救急企画室

担当：三島、増田、新井、勝俣

TEL：03-5253-7529（直通） FAX：03-5253-7532

令和元年度「救急の日」及び「救急医療週間」

1 趣旨

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。

期間中、全国各地において、消防庁、厚生労働省、都道府県、市町村、全国消防長会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本救急医学会、その他関係機関の協力により、各種行事が開催されます。

2 令和元年度の日程

「救急の日」 9月9日（月）

「救急医療週間」 9月8日（日）～9月14日（土）

3 消防庁の実施行事等

(1) 「救急の日2019」の開催

救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に開催します。

① 日 時 9月8日（日） 11時00分～17時00分

② 場 所 アクアシティお台場 3階「アクアアリーナ」
東京都港区台場1丁目7番1号

③ 行事内容

◇ キャラクター着ぐるみによるステージオープニング（MCによる開会宣言）
（ハートラちゃん、消太くん、ぐんまちゃん、松戸さん）

◇ 日本赤十字社

「あなたの勇気が命を救う！ハートラちゃんと一緒に体験しようAED」

◇ 一般社団法人 日本AED財団 減らせ突然死プロジェクト実行委員会
「子供たちへのカンタン救命講座」

◇ 全国救急救命士教育施設協議会

「未来の救急救命士が繋ぐ、救命の輪」－救急救命処置シミュレーション－

◇ その他

- ・ パネル及びポスター展示
- ・ 救急関係機器及び資材の展示 等

④ 主 催

消防庁、厚生労働省、一般財団法人日本救急医療財団、一般社団法人日本救急医学会

(2) 救急功労者表彰式

平素から救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰するもので、総務大臣表彰は、個人表彰10名及び団体表彰2団体で、消防庁長官表彰は、個人表彰17名となっています。

- ① 日 時 9月9日（月） 13時30分～13時50分
- ② 場 所 KKRホテル東京 11階「孔雀の間」
東京都千代田区大手町1丁目4番1号
- ③ 受賞者名簿 別紙のとおり

4 その他の取り組み

(1) 「救急の日」ポスター作成・配付（制作：一般財団法人救急振興財団）

今年度は、日本ならではの浮世絵調イラストでポスターを作成し、標語については、「救命の連鎖 お見知りおきを！」としました。

このポスターでは、救命活動に必要な4つの輪（救命の連鎖）を、いままでにない浮世絵調のイラストに落とし込むことで、様々な年代・世代の方に興味を持ってもらい、救急救命において、その場に居合わせたひとにしかできない、大事な役割があることを伝えています。

ポスターは一般財団法人救急振興財団を通じて、全国の消防本部や消防関係団体に配付しています。



救急の日ポスター

(2) 消防機関における実施行事等

全国の消防機関においても、期間中には様々なイベントが開催されますので、お近くの消防機関にお問い合わせいただき、ぜひご参加ください。

令和元年度救急功労者表彰受賞者名簿

●総務大臣表彰対象者数 12 個人・団体

○個人表彰10名

(五十音順・敬称略)

いなば ひでお 稲葉 英夫	64歳	金沢大学 医薬保健研究域医学系循環救急蘇生科学 (救急医学) 教授	石川県
えんざん けいじ 円山 啓司	68歳	地方独立行政法人 市立秋田総合病院 救急科 医員 (元市立秋田総合病院 副院長)	秋田県
おかだ やすせい 岡田 保誠	59歳	公立昭和病院 救命救急センター長	東京都
きたざわ きみお 北澤 公男	63歳	伊那中央病院 統括副院長 兼 救命救急センター長	長野県
くわはら おさむ 桑原 治	61歳	一般財団法人魚沼市医療公社 魚沼市立小出病院 内科部長	新潟県
つきおき みつのり 突沖 満則	66歳	尾道市病院事業局 尾道市病院事業管理者	広島県
まつおか てつや 松岡 哲也	61歳	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 理事 兼 副病院長 兼 救急診療部長	大阪府
まつもと まさひろ 松本 正弘	56歳	邑楽館林医療事務組合 公立館林厚生病院 医療部長 兼 救急センター長	群馬県
むらた ゆうじ 村田 祐二	64歳	仙台市立病院 副院長 兼 救命救急センター長 兼 救命救急センター救急科部長 兼 小児科医長	宮城県
もりもと なおき 森本 直樹	65歳	一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院 院長代理 兼 救命救急センター長	岡山県

○団体表彰2団体

医療法人 社団美松会 生田病院	滋賀県
自治医科大学附属 さいたま医療センター	埼玉県

令和元年度救急功労者表彰受賞者名簿

●消防庁長官表彰対象者数 17 個人

○個人表彰17名

(五十音順・敬称略)

いしかわ とおる 石川 徹	59歳	名古屋市消防局 港消防署 警防地域第二課長	愛知県
おかもと みのる 岡本 実	54歳	山口市消防本部 中央消防署 大内出張所長	山口県
かみじょう よしあき 上條 美昭	59歳	浜松市消防局 消防次長(消防総務課長事務取扱)	静岡県
きし まさのり 岸 成典	57歳	小田原市消防本部 副消防長	神奈川県
こいけ まさゆき 小池 正之	59歳	高崎市等広域消防局 救急課長	群馬県
こまた ふみお 駒田 文雄	59歳	日光市消防本部 通信指令課長	栃木県
すみたに つよし 炭谷 強	60歳	高岡市消防本部 戸出消防署 副署長	富山県
たけうち ひでかず 竹内 栄一	60歳	国士舘大学 体育学部 スポーツ医科学科 准教授	東京都
たけがき まさひろ 竹垣 正博	58歳	みよし広域連合消防本部 池田消防署 署長 兼 消防本部救急課長	徳島県
ちねん てつお 知念 鉄雄	56歳	那覇市消防局 救急課長	沖縄県
ながた ようよう 永田 洋洋	66歳	元 都城市消防局 警防救急課 副課長	宮崎県
ひらかわ まさたか 平川 正隆	58歳	東大阪市消防局 消防局警防部次長	大阪府
ふくしま よしひろ 福島 義浩	58歳	奥能登広域圏事務組合消防本部 輪島消防署 署長	石川県
ほしかわ えいいち 星川 英一	56歳	福岡市消防局 予防部 予防部長	福岡県
ほりえ つよし 堀江 剛	57歳	松江市消防本部 消防次長	島根県
やすとめ ひでき 安留 秀起	55歳	和歌山市消防局 警防課 副課長	和歌山県
やまぐち まこと 山口 誠	58歳	千葉市消防局 警防部 航空課長	千葉県